



ロンドン物語

藤井眞透

一 ロンドンと云くば City of London, County London,

Greater London の三つの意味がある。第一、之等を區別して考へなければならぬ。London City ロンドン中でも最も繁華な位置に位し、晝間の人口四五〇、〇〇〇を有し、その市長は特に Lord Mayor と稱し色々な特権を有する特別都市である。Mayor と云ふ語はノルマン系から生じたもので、サクソン系なら Olderman と稱すべき所である。一〇六六年サクソン政府が倒されノルマン王朝になつて、

ing 時代に獨語が著しく輸入された。

London County は前記 City とその外二八の區(Borough)を包含し人口は四、五〇〇、〇〇〇を有する。區のうち有名なものは Westminster, Holborn, Kensington 等である。Greater London は District of Metropolitan and City Police で、人口は七、五〇〇、〇〇〇 London County の外 Middlesex, Surrey, Kent, Hartford, Essex 郡の一部を含んで居る。

二 Charling Cross——ロンドン交通系統の中心地で、交通混雑を極めて居るが、英國の里程元標は茲にある。現今二四萬圓で改良計畫が進められて居る。Charling Crossの起りは、一二九〇年エドワード一世の妃クレンナー女皇がHarbyで逝去せられ、ウエストミンスター寺院に葬送される時、その哩程一二六哩あつたので、葬列が休憩する所に紀念の十字架を建てた。今 Gettengen, Northampton, 及び 茲の Charling Cross に残つて居るものが即ちそれだ。

Char の字は方向轉換の意の古語で、葬列は茲で左折し Westminster に向つたので Char-Cross が即ち地名の始まりである。その紀念十字架は交通障害のために撤去し、その跡に現在チャールス一世の像がたつて居る。私が參詣した日は恰度一月三十日で、王が White Hall で斬罪に處せられた命日で澤山の花輪が捧げられて居た。

三 ウェストミンスター寺院は、聖ポール寺院に對し西方の寺と云ふ意味である。此寺院の帝室禮拜堂の中に、あの有名な道路技師トーマス・テルフォードの像が澤山の知

名士の像の中に見受けられた。銘記の中に次の如く記されてゐる。

President of the Institute of Civil Engineers

born at Glendinning in Eskdale,

Dunfries Shire in MDCCCLVII

Died in London MDCCCXXXIV

左手を机上の二冊の書籍の上のせ、右手にコンパスの如きものを持つて居る高八尺位の像である。John Philip Kenble の像と隣り合せておかれてある。

此帝室禮拜堂は英國代々の王家の墓のある所で William Conquerer 第一世が中央に、その左隣室にはマリー女王、右隣室にはエリザベス女王のである。チャールリングクロスに縁のあるエレーナ女王の墓は、ウイリアム帝の横で標準砂の産地として有名な Leighter Buzzard の鐵工が特に鐵の高欄の如きものを造り添へたので目立つ。

ジェームス・ワットの像もあり、クロムウエルも一時之に葬られたが後之を掘りおこされたが、その墓穴は後部に

ある。クロムウエルの首は今のマープル・アーチの Tyburn
Gallow で梟首されたのである。

四 Holborn 水路橋は、ホルボルン街がテームス河の支流
フリート河を横断する個所に造つたものであるが、兩側
の建物の連結で今長い水路橋も中央の経間しか見えない。
恰かも本郷の高臺と小石川の高臺に水路橋をかけたと思
像すれば、春日町、白山の邊に高層建物が列んでしまつて
僅かに道路を横ぎる部分しか見えないのと同じ様なもので
ある。今に東京もこうなると思つた。

此水路橋の高欄に四つの像がある、各々には Science,
Fine Art, Commerce, Agriculture と刻んである。

一八六三——一八六九年代の作だ。その三年後に、ケン
シントン公園に出来たビクトリア女王婚アルバート親王の
記念像には Agriculture と Commerce は同じであるが、
Science, Fine Art が Engineering, Manufacture になつて
居る。僕は水路橋の方が寧ろ Engineering で記念像の方が
Science かも考へるが、或は時代の進歩でかくなつたの

かもしれぬ。

五 テームス河の流れには一三橋が架つて居る。

London Bridge は最も古くからあり、ローマ時代にロン
ドンに町の位置を決める時、架橋地點の關係もあつたため
であると云はれて居る位で、數百年間昔そのままに残つて
居る。

Westminster Bridge は第二の橋梁で十ヶ年かゝつて一七
四九年に竣工、Blackfriars Bridge は第三で九年かゝつて一
七六九年に出来た。何れも米大陸の殖民經營の成功、カナ
ダ奪取の景氣のよい時代で大 Pitt の時である。

ナポレオンとの戦争が終り、小康を得るやサウスオーク
區外一ヶ所に架橋がおこされたが、Waterloo の戦後に完成
したので Waterloo Bridge と名づけた。

此大戦後平和となつてから、London Bridge の改造にか
かつたのであるが、その技師 Remie 及其の息子の二代でか
けた橋が極めて多く、一六六六年の大火後建築に Christop
her Wren が大手腕を振つたのと比し得ると思ふ。

維新前伊藤公、井上侯が渡英された折 London Bridge
で語られた一節を讀んだが、それは丁度 Blackfriar Bridge
及び Westminster Bridge の架換工事が了したばかりの時
で Tower Bridge はまだない時分である。

現在 Waterloo Bridge の擴張工事最中である。尙 Christ
ck 及び Richmond の Old Deer 公園に新橋を架せんとし
てゐる。

六 ローマ時代の石造工事として London Wall, London
Stone として残つてゐる。思ふにエヂプトの如き木材の少
い土地で花崗岩や石灰岩で、ピラミットを造ることに慣れ
た石造建築の技術はギリシャ、イタリアと次第に浸蝕して
英國に入り、ローマ時代の城塞に見る様な粗石積、玉石積
となり又大工事にはローマタイルを混用し、初期の粗つほ
い技術が層積石造工事となり、今日の Ashlar Masonry の
基なしたものと思はれる。

Eddystone の燈臺をローマンセメントで造つた頃から、
セメントの發達が促され、ポートランドの發明により著し

き發達を遂げたが、保守的な英國に於ては今尙ローマンセ
メントを Francis & Co. で賣り出してゐる。

かくて石造工事に於ては、英國各都市にある城塞工事に
よりて發達をしたが、木工工事の不細工なのを見ると日本
の技術の價値が思ひ出される。

七 Hydepark, Kensington, Regent の各公園の遊歩道系
統は極めて幼稚なもので、代々木練兵場の通路と芝生を少
し手入れた位のもの、又は舊青山練兵場の通路が信濃町
から墓地方向、聯隊方向、千駄ヶ谷方向と一直線に自から
徑をなせる如く之をそのまま歩道となし、その外を芝生と
した程度のものである。或意味に於ては雄大、ある意味に
於て庭園技術の皆無を思はしめる。聖セームス公園はフラ
ンスの庭園技師が設計したので、英人には此の如き仕事は
なし得ない。見通しの意味さへ判らないかもしれない。

ケンシントン公園には、流 (Long Water と云ひハイム
パーク公園では Serpentine と云ふ) に沿つて Petrepan の
像が建つてゐる。英國のもつ桃太郎で、僕も民族を知る爲

Story of Peterpan を買つて讀んだ。

八 或日の朝 London Bridge の上に立つて交通車輛を見ると、三分の一は荷馬車だ。ロンドンの繁激な交通量に對するため木塊舗装が多い。然し Victoria 河岸道路や Oldsea 河岸道路に於てはトリニダッドアスファルトが布いてある。彼等に云はせると、一噸毎使ふ毎に吾國に税金を收めるアスファルトであつた。ロンドンのアスファルト舗装の始まりは河岸道路の東側にある Threadneedle 街で幹線に當つて居るが、交通量は極めて大なりと云ふ程でもな

5。
(九) ロンドンの街路網の亂雜さを見ると、英國皇室第一代 William Conquerer 王がロンドンを首府とした一〇六六年以前、吾國の平安京の整然たる大都市計畫をたて皇城を中心とし、朱雀大路を直通せしめた、あの技術に誇りを感じる。例へ半面都市の感があり、支那との交通に啓發されて出來たとは云へ、世界に誇るべき都市計畫であると考へる。

一〇 ロンドン塔の慘虐——女皇たること九日にして、忽ち囚人となつた Sean Grey、一五五三年の春まだ淺き頃ギルト・ホールに於て She should be burnt alive, or beheaded, as Queen Mary likes, と宣告され、牢獄に至る一哩の間徒歩で、靜かに首切り刀を手にする獄卒の後について歩く僅か一七歳の若き女王、テームスの流れを牢獄に入れて溺死せしめられた More を始め數百の不幸の人、僕は殖民經營に發展を求めずして、只狭き本國に骨肉争ふ如き中世の暗黒にまゆをひそめた。

然し斬首する前に膝まつく首切り臺が低すぎると、尙高き臺を望み、又は斬首するに髪が背に垂れてゐるのが邪魔になるなどと云つてる語を思ふと、西洋料理でナイフで切り、フォークで刺して食べるのと同じ様だと考へさせられる。

中世の英主エリザベス女王の母 Ann Boehn 女王がヘンリー八世のために斬首される時は、斧でなく劍にしてくれとのことで劍の名人を探し得ず、フランスのカレーから佛

國人が頼まれ、二一ポンド一〇志六片の報酬を受けたと云ふ話がある。吾國で源平時代に子が父を又は叔父を殺し、暗黒時代はあつたが、一般に美しい生活を嬉しく思つた。

一一 ロンドンの霧、自動車の前燈火を灯しておぼつと進む。あの霧を見て英語の *Fine day* の意味が判然してくる。寒ければストーブ、暑ければ扇風器と云ふ時代になぜ霧を散らす考が浮ばないのか。

今巴里に居て之をかく。バリの *Cite Chapelle* の入口では、一九二四年一月の洪水で五尺も水がたまり、船で往來したと云つたが、東京の新荒川、大阪の新淀川の如く洪水防壁の工法をなぜとらなかつたか。之は物部博士に伺はねばならないが『必要』あれば之を満足す。工夫をするのが現代だ。

ロンドンの建物は霧の中に含まれてる塵のために黒くなつてる。Westminster Bridge の石灰石の欄干も汚れ、且つ風化してゐる。彼等の誇りとする砂岩は勿論聖ポール寺院の石灰岩も風化をうけてゐる。之を思ふとエヂプト記念前

一五〇〇年のオペリスクのみが獨り耐久性を誇つてゐる。

一二 *Orleans* カーライルの家。米國からエマーソンが却々訪ねて来て、共に語つたストーブ、ホテルに行かずしてカーライルの家に泊つたエマーソンの室。日本人が最も多く訪問すると見え、番人がよく案内し訪問者名簿は稀に日本人の所に紙が挟んであつて、一々教へ長岡半太郎、新渡戸稻造その他の名を見た。

一三 本郷通りを濶歩する高等學校生徒の様な *Sine Cu* を書いて濶歩するのは、ラグビーの選手、オックメフオードの生徒である。